

# どこかれ通信



## 第 53 号

2024. 3. 1 発行

新潟県立看護大学看護研究交流センター

e-mail [nirin@niigata-cn.ac.jp](mailto:nirin@niigata-cn.ac.jp)

TEL 025-526-2822

### 令和5年度「看護現場に活かすコース」の感想をお知らせします。

R5.9.9(土) 何か変！院内急変時の対応力を磨く－急変予測につながるフィジカルアセスメントと急変時の対応－

46名の参加をいただきました。「基礎から応用まで網羅されていて、実践のイメージがつきやすかった」「日々できる観察や気づきを意識して行い、実際の急変をより早く発見できるよう今後の任務にあたっていきたい」「資料に写真や音声が使われ、わかりやすかった」等の感想をいただきました。

R5.9.30(土) 高齢者のエンド・オブ・ライフ・ケア

39名の参加をいただきました。「高齢者の老化によるさまざまな機能低下、喪失体験、高齢者を喪失する家族の不安や悲嘆へのケアの重要性が理解できた」「施設では、看護師は直面することが多いが、他の職種はあまり関心を示さない。看護師だけが抱えるには重い課題であり、相談員・ケアマネ・介護士と一緒に考えていくための働きかけが必要だと感じた」等の感想をいただきました。

R5.11.11(土) 看護職のためのセルフコンパッションー自身を癒し・労り・安らぐー

2名の参加でした。看護職は自己犠牲を強いられている環境であることや、感情労働を余儀なくされて、臨床の現場で働いていることから自分の感情を感じたり、感情を言葉にすることなどを通し、自分に優しい気持ちを向けることの重要性を考えることができる講座でした。少人数であり、参加者と講師のコミュニケーションは十分図れました。

## 本センターが募集する地域課題研究について

毎年、県内の保健・医療・福祉に携わる看護職を対象に看護研究の支援を行っています。

**(支援の内容) ・1件最大10万円の研究費の助成**

**・本学教員が研究計画書作成から発表まで一連の過程を支援**

- ✳️研究に取り組んでみたいが少し不安な方
- ✳️課題を持っているが看護研究の経験のない方
- ✳️看護研究の手法を学びたいと考えている方

**是非、応募をご検討ください。令和6年度の募集は9月1日から開始します。**

**令和6年度も看護研究に関する公開講座を4コース開催します。**

**現場で看護研究に取り組む予定の方、研究に興味のある方・・・是非、ご活用ください。**

5/11(土)「看護研究のテーマをみつけよう」：オンライン講義

6/22(土)「文献検索の実際」：対面講義+医中誌 Web 検索の演習

7/27(土)「看護研究方法の理解」：オンライン講義

9/28(土)「研究計画書の書き方」：対面講義

## どこでもカレッジプロジェクト（バーチャルカレッジ）について

当センターのHPに掲載する学習教材を、インターネットから学ぶことができる会員制のプログラムです。「**どこカレメイト**」に会員登録（無料）し、インターネット環境が整った場所であれば、いつでも、どこでもスマホやパソコンから研修動画の視聴が可能です。

**どこカレメイトの申込方法** ●当センターのホームページ [メイト登録申込フォーム](#)から。

●申込用QRコードから読み取り



**令和5年度に掲載した動画は以下の内容です。**

・「看護職のためのセルフコンパッションー自身を癒し・労り・安らぐー」

講師：新潟県立看護大学 精神看護学講師 船山健二

・「何か変！院内急変時の対応力を磨く

ー急変予測につながるフィジカルアセスメントと急変時の対応ー」

講師：新潟県立中央病院 救急看護認定看護師 涌井幸恵